

頑張った駅伝大会!

10月5日(水)に秋空中、中学校総合体育大会駅伝競走大会が行われました。2学期が始まってから、部活動と並行して毎日練習を重ねてきました。長距離を走ることを得意としている生徒ばかりではありませんでしたが、一生懸命に練習に取り組み、当日もそれぞれが持っている力以上のものを発揮することができました。優芽さんもなんと10分を切る、9分54秒という自己ベストを出すことができ、達成感を感じていたようでした。(裏面に優芽さんの感想を載せています。)



玉之浦中の生徒とのタスキ渡しの練習



背中越しに伝わる緊張感・・・



家庭科調理実習

家庭科で「幼児の食生活」についての学習を行い、自らメニューを考え、バナナマフィンと、蒸しパンをつくりました。オーブンに入れたバナナマフィンのいい香りと、蒸しパンのできたてのふわふわ感に幸せな気持ちになれた調理実習だったそうです。先生方からも評判だったようです♪



私は初めての駅伝大会で、玉之浦中の女子と一緒にアップをしたりして、緊張をほぐしました。そこまでは大丈夫だったのですが、招集所に行った時、どっと緊張感が増しました。第1走者が第2走者にたすきをつないだ時、私の番が近づいてきていることを実感し、私はドキドキしすぎて、前にいるライバルにたくさん話しかけました。そして、自分の番が来て、自己ベストを出すぞと思いながら真剣に走りました。たくさんの方が応援してくれている中、奈留中の男子が、

「ゆめさん、頑張って！」

と行ってくれました。奈留中とはライバルなのに、大きな声で応援してくれて、本当にうれしかったし、熱くなりました。自分の学校のチームだけに応援するのは当たり前だけど、他校のチームにも応援することは、ランナーに力を与えるということを知りました。



生徒達の感想には、優芽さんと同じように、「他校の生徒にも応援しているのがすごかった。」「応援は今までそこまで意味が無いと思っていたけど、応援の力を今回感じた。」「交流した奈留中の生徒や先生から応援してもらって力が出了。」と「応援の力」を直に感じたようでした。

2学期始めに校長先生からお話があった「失敗を恐れず、挑戦する」まさに学校教育目標である「敢為の精神」を実行し、大きく成長した駅伝大会でした。

